

2023～2024 年度

久留米北ロータリークラブ運営方針

=継続と多様性への配慮=

会長 横溝 當一

=Create Hope in the World/世界に希望を生み出そう=

「世界に平和をもたらし、紛争の影響を受けた人びとを癒すこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすこと」が目標として示されました。ここに、「世界に希望を生み出そう」というテーマが導かれます。

R I 会長のテーマを受けて、2700 地区ガバナー吉田知弘氏は地区メッセージを「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」と力強く宣言されました。

そして地区方針の要点として

- (1) ロータリーの基本を確認し、尊重しよう（一人ひとりのロータリアンへ）
- (2) クラブの活動を充実させよう（一つ一つのロータリークラブへ）
- (3) 充実した例会を取り戻そう（丁寧なクラブ奉仕の実践）
- (4) クラブの課題を理解し、明確な目標を設定しよう
- (5) ロータリー賞の全クラブ受賞に向けて
- (6) インパクトある奉仕プロジェクトを計画・実行しよう
- (7) 会員増強の目標と達成の視点について
- (8) 会員相互のコミュニケーションを高めよう（新会員育成プログラムの策定）
- (9) 若手会員の地区への出向を支援しよう（クラブを外に開き、次世代のリーダーを育てる）
- (10) マイロータリーの登録率を向上させよう
- (11) ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付増進について
- (12) R I 会長方針に示された取組事項
 - A ポリオ根絶への取組み
 - B メンタルヘルスの改善への取組

2700 地区ガバナー吉田知弘氏の地区方針を基本として一年間クラブ運営を行っていきたいと考えています。創立 45 年記念事業を終え次世代へとクラブを継承する時期ではないかと思っています。諸先輩がこれまで築いてこられた活動は継続しながら、変化する環境に適応し、クラブを保持してロータリーとロータリーの価値を次世代へと継承するために何をすべきかを考え、我々は知恵を絞る必要があります。クラブの在り方としても多様なバリエーションがあり、固定観念に囚われず選択肢を増やし、世代を超えて対話することによりクラブの開放性を高め、クラブの活力が増す第一歩となるように運営・活動を考えていきたいと思っています。

1. 継続事業（諸先輩たちの優れたアイデアを引き継ぎ前進・発展させる）
 - ・おぎゃ-献金
 - ・野球感謝祭
 - ・花蓮港区ロータリークラブとの交流
 - ・駅ピアノの維持管理
2. 多様性への配慮（自分とは違う価値観などを持っている人がいることを理解し尊重する）
 - ① 会員の定着率の向上（会員確保）

私たちロータリーはクラブも持続可能性を維持し、次世代へとクラブを継承する責任があります。そのためには、クラブの次代を担う新会員の加入を促します。

 - ・3名の会員数増加（純増）を目標とする。
 - ・クラブ活力の源泉である例会に入会候補者を招待してロータリーを理解していただき入会へ導く。
 - ・会員相互のコミュニケーションを高めるために例会の席を新会員・既存会員混合や懇談会を兼ねた勉強会を定期的に設ける。
 - ② ロータリークラブのイメージの向上（魅力ある活動）

ウィズコロナの時代に入ることを自覚し、充実した例会を取り戻し元気なクラブにすることが魅力あるロータリークラブの活動の原点だと考えます。

 - ・楽器演奏の継続
 - ・ラジオ体操、1分間ストレッチの継続
 - ・四つのテストの唱和
 - ・会員卓話の充実
 - ・オンラインツールの活用によるハイブリッド例会の検討。
 - ③ イノベーションの創出（会員の事業への積極的なかかわりを促す）

変化する環境に適応し、クラブを保持してロータリーとロータリーの価値を次世代に継承するために何をすべきかが問われています。

我がクラブの特徴である3つの委員会活動に会員の積極的なかかわりを促します。

 - ・健康管理委員会・・・エコー検診、健康卓話
 - ・食育委員会・・・地産地消（夜間例会・収穫）
 - ・スポーツ親善委員会・・・スポーツを通して会員相互の親睦と他団体との親善（野球・ゴルフ）
3. マイロータリーの登録率向上（ロータリーの現在を知り、学びを深める）
4. 4RC 合同例会の開催
5. ロータリー賞の受賞を目指す

これから一年間＝継続と多様性への配慮＝を指針として努めてまいりますので理事、役員並びに会員の皆様に絶大なるご支援とご協力をお願いいたします。